



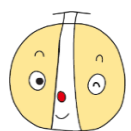
第1回 西成特区構想部会（令和4年7月5日開催）

資料 1

委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
1	南委員	【外国人に対する施策について】 最近、西成区において、ベトナム人の方の人口が増えている。 区役所として、そういった外国人に対する施策を行う等の視点が抜けているように感じる。	現在、大阪市として、外国人の方の人口が増加しています。そのような背景を踏まえ、大阪市全体として、地域の方と外国人の方とのつながりづくりをする必要があると考えています。 今後、市で議論が進んでいく中で、西成区としても、委員の皆さまからのご意見を踏まえた議論を進めていければと考えています。	当日の回答のとおり	総務課
2	南委員	【コロナ対策について】 昨年、西成区にある簡易宿泊所に住んでいる方が、コロナに罹患した際、周囲に迷惑をかけないようにと野宿をされ、屋外で亡くなっておられるのが発見された事例がある。 そういった方に対して、行政として何か対策できることがあったのではないかと。	コロナに罹患された方がいた場合、区役所から電話で病状等を聞き取っています。聞き取った内容により、入院していただいたり、ホテル療養を勧めたりしています。 電話を持っておらず、なかなか連絡が取れない方については、簡易宿所に住まわれている方でしたら、管理人の方を伝手に連絡を取るなど、できる限りの対応を行っています。	当日回答のとおり	地域保健
3	南委員	【コロナ対策について】 コロナに罹患したが、携帯等を持っていないで、行政に連絡を取る手段がない方がいた場合、地域の支援団体の方がお金を出して支えている現状がある。決められた予算ではなく、そのような困っている方に対し、支援できるような柔軟な予算編成をすることはできないのか。	—	新型コロナ対策について、区保健福祉センターでは、府・市の取組に連携した対応を行っています。 区独自の予算計上は予定しておりませんが、対応については今後も関係先と連携して行ってまいります。	地域保健

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
4	東委員	【外国人に対する施策について】 西成区で、ベトナムの食品や中国の食品を販売しているお店が増加している。 そういった食品売り場の方と地域の方がコミュニケーションをとれるような、コミュニティを作ること はできないか。	地域の方と連携しながら、様々な行事の中で、地域の方と外国人の方がコミュニケーションを取れるよう、声掛け等を行っていただければと考えています。	外国人住民と地域住民との相互理解が十分に 進んでいないことは、大阪市全体の課題として認識しており、大阪市市民局において外国につながる市民のエンパワーメント推進に向けた調査・ 検討が行われているところです。 この調査・検討結果を踏まえ、区としても、地域の実情に応じた相互理解の促進にかかる取り組みなどを検討してまいります。	市民協働課
5	東委員	【地域商業の活性化について】 地域に新しい施設等が出来てきているが、反対に昔からあるような商店街等が廃れてきており、 店を畳んだりする方が増えている。 そのような場所に支援を行ったり、子ども達に昔の 方の功績を伝えるようなことをしていただければ と思います。	令和元年度、令和2年度に実施したエリアリノベーション事業において新今宮フェスティバルを開催し、様々なお店を対象にしたスタンプラリー等のイベントを行い、昨年度はまち歩きイベントを開催しました。コロナ禍ですので、状況を勘案し、地域活性化に向けた支援を行っていきたいと考えています。	当日の回答のとおり	総合企画課
6	南委員	【新今宮エリアブランド向上事業について】 新今宮という、西成区にとらわれないエリアをブランドしていくというのはすごく良いアイデアだと思う。しかし、この事業が地域に認知されていない現状がある。それにも関わらず、令和3年度の運営方針の目標が、ウェブページ等の掲載3件や、SNSの口コミ分析などであり、目標達成となっているが、目標設定が弱いのではないか。 地域をブランディングする以上、その地域の方の利益を上げることが必要になってくるので、今後は地域の事業者の経営が安定するような目標設定をしてほしい。	新型コロナウイルスの影響が大きく、訪れる宿泊客等の数がかかなり減っている状況があります。現在、そのような状況を勘案し、西成区の歴史や浪速区の歴史を含めたスタディツアーを企画しています。このスタディツアーを地元の方が仕事として捉えられるように育成をしている段階です。スタディツアーを地域に定着させ、たくさんの方に来ていただけるようにしていきたいと考えています。 本事業は、民間の取組みの自走化や新今宮エリアのイメージアップを目的としており、経済効果を目標に設定するのは難しく、また、令和4年度が最終年度の事業となっています。	当事業におきましては、令和5年度より地域におけるプラットフォームが実施主体となり事業の自走化を計画しております。民間ならではの魅力的なコンテンツの開発、積極的な情報発信を行い、更なる新今宮エリアの魅力を高めることにより、にぎわいが増幅、地域の活性化にも寄与するものと考えております。	総合企画課



第2回 西成特区構想部会（令和4年8月2日開催）

委員からのご意見

議論のテーマ「ごみの問題について」

- ・旧あいりん総合センターのごみの不法投棄の状況が3、4年前からあまり変わっていない。新今宮駅から降りてすぐの場所にあるため、観光客の目に留まる。そのような場所に大量の不法投棄があるのは、西成のイメージに悪い影響を与えている。
- ・あいりん地域では、ごみの分別ルールを知らない方がたくさんいらっしゃる。ルールをきちんと理解してもらえよう、啓発を行うことができないのかなと思う。
- ・ごみの不法投棄は、様々な地域で問題となっている。ごみの問題については、それぞれの地域住民が話し合っ意識・管理していく。地域で問題解決するしかないのかなと思う。
- ・地域では高齢化が進んでおり、様々な問題に対応する力が弱くなっている。
- ・空地があつたりすると、そこにごみが集まってくる状況がある。
- ・場所によっては町会がないから対応できないと言われる場所もある。
- ・空家にはよく不法投棄されるが、そういった場所に監視カメラを設置するなど、予防のために先に手を打つことはできないかと思う。
- ・不法投棄問題を解決した事例など、成功例をもっと周知すれば、区民の方も安心するのではないかと思う。

※今回の区政会議では、委員に身近なテーマで様々なご意見をいただきました。いただきましたご意見は、今後の区政の参考とさせていただきます。